

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)八尾市東本町3丁目計画	階数	地上13F
建設地	大阪府八尾市東本町	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	200人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年3月 予定	評価の実施日	2020年5月19日
敷地面積	1,896㎡	作成者	カノンアソシエツ 砂野秀裕
建築面積	509㎡	確認日	2020年5月20日
延床面積	4,109㎡	確認者	カノンアソシエツ 玉谷修一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

① 参照値	100%
② 建築物の取組み	82%
③ 上記②以外の	82%
④ 上記+	82%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.3

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	良好な都市環境を形成し、賑わいのある街並みを維持するよう努める計画とした。高い外皮性能を計画し省エネルギーで快適な室内環境を整えるよう努めた。	その他 特になし
Q1 室内環境	室内にはF☆☆☆☆の建材を使用し、また昼光率が良く採光を取り入れることで室内環境向上に努めた。	Q3 室外環境(敷地内) 植栽を設けることで良好な景観を形成した。
LR1 エネルギー	品確法の断熱等性能等級における等級4相当の断熱性能を確保することで、外皮の熱負荷抑制を考慮した。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルコストCO ₂ 排出率を参照値より抑制し、地球温暖化への配慮をしている。
Q2 サービス性能	品確法の劣化等級3相当とし、設備は耐用年数が高い配管を採用し更新の間隔を長くするよう配慮した。	
LR2 資源・マテリアル	躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっており、部材の再利用の推進に努めている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-0036

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)八尾市東本3丁目 計画
	建設地	大阪府八尾市東本町
	用途/区分	集合住宅

【評価結果】	CASBEE 総合評価		B+
--------	----------------	--	-----------

①	CO2削減		4
---	-------	--	----------

②	みどり・ヒート アイランド対策		3
---	--------------------	--	----------

③	建物の断熱性		4
---	--------	--	----------

④	エネルギー削減		4
---	---------	--	----------

⑤	自然エネルギー直接利用		○
---	-------------	--	----------

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—	—
	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—	—

エネルギー消費量の報告		対象外
-------------	--	-----

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.7	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	4.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	4
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.8	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

【その他】		
	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		